

ピーコのシャンソン。
ピーコにしかうたえない歌がある。

ピーコ

我が心の歌 vol.12

Peeco Chanson & Talk
Song of My Heart vol.12

お客様

永 六輔

チケット発売日

10/28(月)

午前10時

2014年 1/13(月・祝)

成城ホール

開場 13:30 開演 14:00

前売 3,500 円 当日 3,800 円 (全席指定)

●お問合せ 成城ホール 03-3482-1313



ピーコ

我が心の歌 vol.12

Peeco Chanson & Talk
Song of My Heart vol.12



ピーコ (シャンソン&トーク)

1945年横浜市に生まれる。高校卒業後、アパレル会社、文化服装学院を経て、衣装デザイナーとして芸能界へ。現在はファッション評論家やジャーナリスト、タレントとして活躍。1989年、左目のがんの摘出手術。落ち込んでいるときに永六輔氏から歌を勧められシャンソンの勉強を始める。手記を綴った『片目を失って見えてきたもの』は、生きることの意味を見つけた1冊としてベストセラーに。映画評論家・おすぎとは一卵性双生児の兄弟。

たった3分の曲の中に
ひとつの人生がこめられている…
それがシャンソン。

だからこそ、ピーコが歌う意味がある。
忘れかけていた愛とか恋とか青春を…
甘酸っぱくて、そして切ない日々を…



永六輔

1933年浅草に生まれる。1955年早稲田大学中退。中学の時、NHKラジオ「日曜朗読版」に投稿をして以来ラジオ・作詞・テレビ・出版の仕事が続いている。生活の中で感じた矛盾や感動を語り、書き、時には市民運動やボランティア活動を手伝っている。2013年9月に46年続いたTBSラジオ「世かどどこかで」が惜しまれつつも終了したが、現在も「土曜ワイドラジオ東京」に出演。近著に「男のおばあさん〜楽しく年を取る方法〜」(大和書房)がある。

撮影 仲野正樹



森若 三栄子 (ピアノ)

桐朋学園大学ピアノ科卒業。卒業後ポピュラー音楽に転向し、講師として何度か東船し海外を回る。その後、故・友竹正則氏の伴奏などを経てクラシック、シャンソン、ポピュラー、そして童謡と、幅広いジャンルで演奏を開始。故・石井好子をはじめ、多くのシャンソン歌手やボニー・ジャックスの伴奏者として活躍中。また、ニューヨーク、中国など海外でも活躍。1996年「第26回日本童謡特別賞」受賞。



椿 太陽 (ヴァイオリン)

2歳よりヴァイオリンを始める。第17回高文連ソロ・コンテスト最優秀音楽賞(全4部門総合1位)受賞。第10回「万里の長城杯」国際音楽コンクール第1位、中国駐大阪総領事賞受賞。授業料全額免除を受け昭和音楽大学演奏家コース卒業。リサイタルを行う他、様々な音楽コンクールの審査員を務め活動は多岐に渡る。東京音楽学院講師を務め、後進の指導にもあたっている。門下生の多くがコンクールに上位入賞している。日本弦楽指導者協会正会員。

2014年 1/13(月・祝) 成城ホール

開場 13:30 開演 14:00

前売 3,500円 当日 3,800円(全席指定)

●チケット取扱い

カンフェティ 0120-240-540 (平日10時~18時)

成城ホール/北沢タウンホール(窓口販売)

●お問合せ

成城ホール 03-3482-1313

主催:成城ホール(アクティオ株式会社)

制作:菊地廣/難波有希

協力:オフィスおすぎとピーコ

舞台:秋東京舞台照明

イラスト:ピーコ

デザイン:織田一良

チケット発売日

10/28(月)

午前10時



・電車:小田急線「成城学園前駅」下車、徒歩4分

・バス:成01・02・04・05・06・08・20・21「成城学園前駅西口」下車、徒歩5分
成24・都立01・都12・月06・玉07「成城学園前駅南口」下車、徒歩4分